自然科学部大会出場の報告

『IBARAKIドリーム・パス』大会にて銅賞を受賞

1 月 30 日(日)、茨城県教育委員会主催の、『IBARAKI ドリーム・パス事業』の本大会が行われました。本校自然科学部は、地域課題解決型部門に、「ニホンミツバチが住める里山を育てる」というテーマでエントリーし、一次審査に通過、8 月 8 日の二次審査にて、161 チーム応募の中から 8 チームに選出されました。そして 6 か月間のハードな取り組みをプレゼンし、決勝進出。この度、『銅賞』(副賞10万円)をいただくことが出来ました。

本校自然科学部は、『生態系を守る』をテーマに、また、来年度から入学予定の中学生の部活動の基礎を築く事を目標に、今年度からスタートした部活動です。

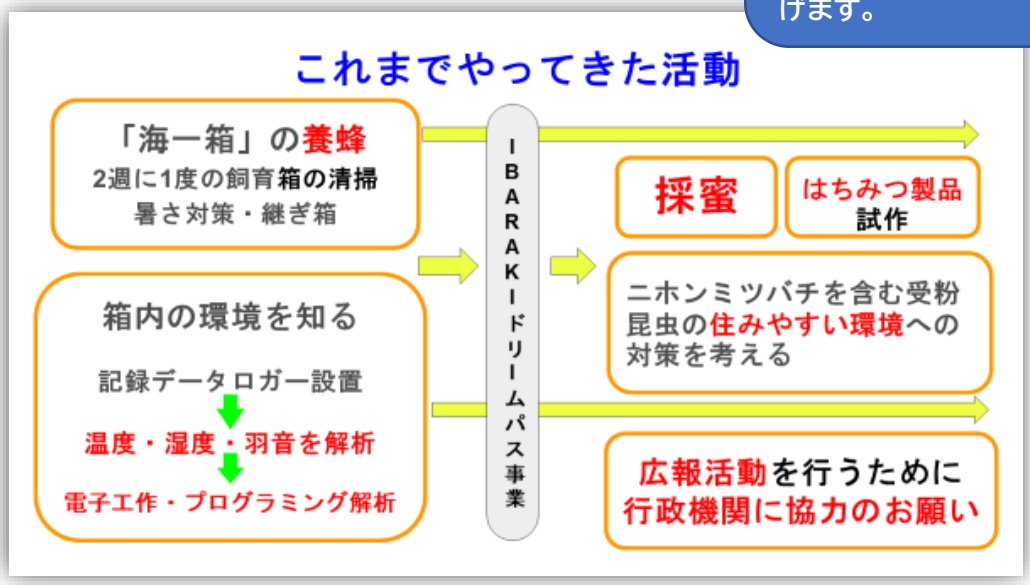
そして、この『IBARAKI ドリーム・パス事業』で活動する機会を与えられたことにより、大きく飛躍することが出来たと同時に、部員たちも、大きく成長できたと感じます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、オンラインを併用した大会ではありましたが、部員たちは、全力で課題に取り組み、初出場ながら 3 位入賞を果たすことが出来ました。

プレゼンの内容を、一部ご紹介します。

本校自然科学部の活動を、全面的にバックアップしてくださった農研機構の方々と、つくば養蜂研究会のみなさまに、心から感謝いたします。これからもよろしくご指導お願い申し上げます。　　部員一同

受賞テーマ『ニホンミツバチが住める里山を育てる』
～海一発ニホンミツバチを増やそうプロジェクト～



ニホンミツバチの入居した飼育箱「海一箱」の養蜂　9ヶ月間

2週に1度の飼育箱の底面の清掃・継ぎ箱・暑さ対策

【暑さ対策】
・飼育箱の天井蓋に穴
・よしずで日よけ

巣箱内の環境と蜂の行動を知るために

農研機構の研究員さんが試作してくださったデータロガーを設置し、得られたデータから、35日間の巣箱内の温度・湿度のプログラミング解析

農研機構の岸研究員さんが試作してくだった録音データロガー

農研機構の方々より、二日間にわたり、合計８時間、マンツーマン以上の手厚いご指導をいただきました

蜜蝋を取り出す

巣の搾りカス

さらしに包み湯につける

抽出

冷却

洗浄

希少な
ニホンミツバチの蜜蝋

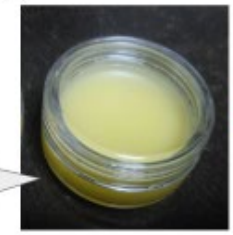
試作してみました！！

蜜蝋にオリーブオイル
とグリセリン、香料

蜜蝋：オリーブオイル
＝１：４

湯煎

小分け直前に香り付け



蜜蝋ハンドクリーム

肌の保湿や
肌を柔軟にする
効果が期待できる
香りづけを楽しめる
女性に人気

はちみつ製品のオリジナルラベル

ミツロウキャンドル

キャップをして保管すれば、
災害時停電の際も利用できる

亀岡町のカメとハニカム構造をかけた
デザイン

50mL瓶に小分けしたはちみつ

オリジナルロゴ完成！！

常総市長さんを表敬訪問し、広報活動

はちみつを試食し、ミツロウクリームを試していただきました

広報・販売の場を
与えてください

ニホンミツバチの
飼育箱を置く場所
を貸してください

フェイスブックやインスタで、
協力を呼びかけてくださいました

“海一生のはちみつとミツロウ製品を販売します”

【販売ポスター】